

※ 本資料は、神戸市政記者クラブ、神戸経済記者クラブに同時資料提供しています

記者資料提供（平成 30 年 6 月 27 日）

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

クラスター推進センター 事業推進課 岩尾・出口

TEL : 078-306-0719 E-mail : cluster_media@fbri.org



免疫関連疾患の診断技術の開発に関する共同研究の開始

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構（以下、「当機構」）とシスメックス株式会社（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長：家次 恒、以下、「シスメックス」）、国立大学法人京都大学（所在地：京都市、学長：山極 壽一、以下「京都大学」）は、この度、免疫機能状態の新規解析手法の確立とそれを用いた早期診断システムの開発を目的とした共同研究を開始しました。

本共同研究は、当機構が進める「創薬イノベーションプログラム」の第四号となります。

◆研究テーマ◆

免疫関連疾患の診断技術の開発

◆研究目的◆

分子イメージング技術、細胞測定技術、高感度蛋白測定技術等を駆使して細胞性免疫や体液性免疫の状態を解析することにより、自己免疫疾患や慢性炎症性疾患の早期発見等を可能とする診断システムの開発を目指します。

◆研究期間◆

平成 30 年 4 月 1 日より 3 年間

◆プログラムディレクター◆

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 理事長 本庶 佑

◆研究施設◆

神戸臨床研究情報センター（TRI）

※「創薬イノベーションプログラム」について

神戸医療産業都市に集積する研究機関や基盤施設等の研究開発機能を結集・連携させたプログラムを国内外の製薬会社等へ提案し、神戸医療産業都市推進機構との共同研究体制により、創薬の開発に必要な研究者、設備、臨床開発等の研究環境を一元的に提供します。

これまで本プログラムによる共同研究契約は 3 件締結されています。